

事務事業評価シート（1/2）

1 頁
令和 4 年 8 月 20 日
14 時 09 分 17 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001403030 南明治整備課工務係
事務事業 02265 南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	02	第 8 次安城市総合計画		
5 K の分類	003	経済		
項目（施策）	004	1 0 都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR 安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	005	南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業		
事業期間	平成 22 年度～令和 8 年度	17 年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生 健全
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	道路の利用者が
目的	安全に通行することができるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせ、事業区域から延伸する地区外の都市計画道路等の整備を進めます。まちなかに賑わいを創出するため、オブジェ等を設置します。
事務内容	第一土地区画整理事業に隣接する道路整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、物件調査・補償、用地買収。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 予算額
トータルコスト	22,562	76,060	300,100
事業費	19,412	72,100	290,530
国庫支出金	0	23,400	76,600
県支出金	7,000	0	0
地方債	0	21,000	68,900
その他	0	0	0
一般財源	12,412	27,700	145,030
人件費計	3,150	3,960	9,570
正規（人）	0.50	0.60	1.45
その他経費	0	0	0

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
【事務事業活動実績】	（都）南安城横山線整備のため、用地買収、物件移転補償を実施しました。	地区界の区画道路 1 0 - 5 号線の一部区間を整備しました。また、（都）南安城横山線整備のため、用地買収、物件移転補償を実施しました。	（都）南安城横山線整備のため、末広橋（第一期分）の改築工事をします。また、同路線の用地買収、物件移転補償を実施します。

事務事業評価シート (2 / 2)

2 頁
令和 4 年 8 月 20 日
14 時 09 分 17 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001403030 南明治整備課工務係
事務事業 02265 南明治土地区画整理事業地区外道路等整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
(都) 駅前 1 号線整備進捗率 (事業費ベース)	%	100.00 100.00	100.00 100.00	100.00 100.00
(都) 南安城横山線整備進捗率 (事業費ベース)	%	16.80 8.80	21.10 15.50	51.30 0.00
区 10-5 号線整備進捗率 (事業費ベース)	%	48.90 51.00	100.00 100.00	100.00 100.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市道の整備であり、市による事業実施が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	交通渋滞の緩和、自転車、歩行者の安全確保のために必要です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	土地区画整理事業に合わせて進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と同様に基準に沿った整備内容です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (4 0 0 文字)	土地区画整理事業の整備効果を高めるため、地区外に延伸する道路を土地区画整理事業と一体的に整備して、交通渋滞の緩和、交通安全の確保を図ります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (4 0 0 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 4年 8月20日
14時09分17秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001403030 南明治整備課工務係
事務事業 02266 南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業 電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画次数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	006	南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業		
事業期間	平成27年度～令和8年度	12年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等				
備考				

【事業分析】

対象	追田排水区及び花ノ木排水区内の住民が
目的	大雨災害に対して安心して暮らせるようになります。
手段	南明治土地区画整理事業の進捗に合わせて、事業区域に接続する地区外の排水路を整備します。
事務内容	整備計画の進捗管理、設計業務、工事現場監督、関連事業者との調整、用地買収

【コスト】

（単位：千円）

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	99,889	8,730	3,660
事業費	93,589	1,470	3,000
国庫支出金	11,400	730	1,100
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	82,189	740	1,900
人件費計	6,300	7,260	660
正規（人）	1.00	1.10	0.10
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	未広雨水幹線の工事を 実施しました。	未広雨水幹線及び排水 路1-2号の工事を実 施しました。	前年から引き続き、未 広雨水幹線及び排水路 1-2号の工事を実施 します。

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 4 年 8 月 20 日
14 時 09 分 17 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001403030 南明治整備課工務係
事務事業 02266 南明治土地区画整理事業地区外排水路等整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
末広雨水幹線整備進捗率（事業費ベース）	%	100.00	100.00	100.00
		100.00	100.00	100.00
排水路 1 - 2 号線整備進捗率（事業費ベース）	%	45.10	100.00	100.00
		54.00	100.00	100.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市管理の幹線排水路の整備であり、市による事業実施が必要です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	大雨時の浸水被害防止に必要な事業であり、ニーズはあります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	土地区画整理事業に合わせて進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	積極的に国、県の補助金を活用し事業を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体等と同時に標準に沿った整備内容です。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	追田排水区及び花ノ木排水区の浸水被害を抑制するため、土地区画整理事業地区内の排水路整備と同調又は先行して地区外排水路の整備を行います。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 4年 8月20日
14時10分17秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001403040 南明治整備課換地係
事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進			
事務事業	001	南明治第一土地区画整理事業			
事業期間	平成19年度～令和8年度	20	年間		
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	まちづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。また、美しい市街地景観が形成され、都市機能の整備も図られて、土地利用を増進させることができるようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。なお、住宅市街地総合整備事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	整備に支障となる建物等の移転補償を行うため物件調査、補償交渉を行います。そして、道水路等を整備するため詳細設計、築造工事の施工・管理を行います。また、事業計画や換地計画の作成及び国庫補助申請も行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	1,851,631	1,276,078	744,195
事業費	1,806,271	1,227,898	703,275
国庫支出金	615,102	443,530	141,864
県支出金	111,255	94,100	7,425
地方債	570,800	244,200	104,000
その他	300	169	3
一般財源	508,814	445,899	449,983
人件費計	45,360	48,180	40,920
正規（人）	7.20	7.30	6.20
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	仮換地指定面積400㎡ 建物移転戸数16戸 道路築造延長473.0m 協議会活動回数5回	仮換地指定面積5,250㎡ 建物移転戸数8戸 道路築造延長624.0m	仮換地指定面積480㎡ 建物移転戸数1戸 道路築造延長160.0m

事務事業評価シート(2/2)

2頁
令和4年8月20日
14時10分17秒

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001403040 南明治整備課換地係
事務事業 02270 南明治第一土地区画整理事業

【定量評価】

上段:目標値 下段:実績値

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
家屋移転の進捗率(戸数)	%	96.20	97.50	99.04
		96.20	98.70	0.00
仮換地指定の進捗率(面積)	%	86.00	86.00	85.40
		79.90	85.00	0.00
道路築造の進捗率(延長ベース)	%	77.60	87.40	89.90
		76.20	87.20	0.00
水路築造の進捗率(延長ベース)	%	88.10	98.40	100.00
		91.00	98.40	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	既成市街地の整備であり市自ら事業を実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	H18年に末広・花ノ木から事業促進陳情書が提出されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	事業費ベースの進捗率は76.6%で順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	住宅市街地総合整備事業と合併施行を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	重点密集市街地である当地区の居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心で安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進します。また、市有地の有効活用について方向性を定めています。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 4年 8月20日
14時10分17秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001403040 南明治整備課換地係

事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	003	経済		
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）		
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進		
事務事業	002	住宅市街地総合整備事業		
事業期間	平成18年度～令和8年度	21年間		
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健全事業	まちづくり	マニフェスト	地方創生	健全
根拠法令等	住宅市街地総合整備事業制度要綱			
備考				

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、密集市街地の整備改善が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されます。
手段	土地区画整理事業との合併施行により、効率的に市街地整備を進めます。
事務内容	住宅市街地総合整備事業により、老朽住宅を除却し、耐震性貯水槽・特殊道路・ポケットパーク等を築造します。集会所、仮設住宅、コミュニティ住宅等の供給も行います。また、事業計画の作成や国庫補助申請も行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和2年度 決算額	令和3年度 決算額	令和4年度 予算額
トータルコスト	238,342	60,484	33,686
事業費	222,592	42,334	24,116
国庫支出金	97,930	13,300	5,020
県支出金	0	0	0
地方債	87,200	11,800	3,900
その他	5,610	5,958	5,544
一般財源	31,852	11,276	9,652
人件費計	15,750	18,150	9,570
正規（人）	2.50	2.75	1.45
その他経費	0	0	0

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
【事務事業活動実績】	建物除却戸数4戸 道路築造延長147.9m 仮設住宅の借上げ9戸	道路築造延長91.0m 仮設住宅の借上げ7戸	道路築造延長56.0m 仮設住宅の借上げ4戸

事務事業評価シート (2 / 2)

4 頁
令和 4 年 8 月 20 日
14 時 10 分 17 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001403040 南明治整備課換地係
事務事業 02271 住宅市街地総合整備事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
除却家屋の進捗率（戸数）	%	99.40 100.00	100.00 100.00	100.00 100.00
コミュニティ住宅の累計戸数（建設型・借上げ型）	戸数	27.00 27.00	27.00 27.00	27.00 27.00
追田川プロムナード築造の進捗率（延長ベース）	%	60.20 59.90	69.64 66.38	69.64 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	既成市街地の整備であり市自ら事業を実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	H18年に末広・花の木から事業促進陳情書が提出されています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	事業費ベースの進捗率は99.4%で順調に進捗しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	土地区画整理事業と合併施行を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	補助金を受けるため基準どおりの算定を行っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	重点密集市街地である当地区は、狭あいな道路、不整形な過小宅地、密集した木造老朽住宅、既存商店街の活力低下等により防災上の懸念を抱えております。土地区画整理事業との合併施行により、居住環境の改善と防災機能の向上を目指し、安心して安全な市街地の形成と中心市街地としての活性化が図られるよう、本事業を推進します。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和 4年 8月20日
14時10分17秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001403040 南明治整備課換地係
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業

電話番号 0566-71-3751

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	003	経済			
項目（施策）	004	10都市基盤（市街地）			
施策の方針	002	都市拠点（JR安城駅周辺）の整備促進			
事務事業	004	南明治第三土地区画整理事業			
事業期間	平成29年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	健全
根拠法令等	土地区画整理法				
備考					

【事業分析】

対象	事業区域内の権利者・住民が
目的	既成市街地である事業区域内において、都市機能の整備が図られ、安全で快適な住環境を備えた市街地が整備されて、土地利用を増進させることができるようになります。
手段	土地区画整理事業により道路、公園等を整備、街区・画地の整序を総合的に行います。
事務内容	まちづくり協議会活動を支援しながら、区画整理の整備方針を定め、事業化への合意形成を図ります。事業化後においては、整備に支障となる建物等の移転補償を行うため物件調査、補償交渉を行います。そして、道路等を整備するため詳細設計、築造工事の施工・管理を行います。また、事業計画や換地計画の作成及び国庫補助申請も行います。

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	9,113	9,275	10,940
事業費	4,073	3,665	5,000
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,073	3,665	5,000
人件費計	5,040	5,610	5,940
正規（人）	0.80	0.85	0.90
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	まちづくり協議会活動 支援	まちづくり協議会活動 支援	まちづくり協議会活動 支援

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001403040 南明治整備課換地係
事務事業 02273 南明治第三土地区画整理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
まちづくり協議会の開催回数	回	3.00	4.00	8.00
		3.00	4.00	0.00
想定換地設計の作成	地区	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
事業計画関連図書の作成	地区	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	既成市街地の整備であり市自ら実施する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	H15年に区画整理事業施行区域として都市計画決定されています		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	権利者の熟度を見ながら事業化のタイミングを図っています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	効率的な事業計画及び実施計画の準備を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業計画及び算定基準に基づき実施する事業です。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	平成15年に南明治土地区画整理事業として都市計画決定をしてから建築の制限がかかっており、土地利用を規制している状況であるため、早期の事業化が必要です。平成30年にまちづくり協議会が立ち上がり、勉強会を主催するなど権利者の意識も高まってまいりました。今後もまちづくり協議会を支援し、権利者の皆様とともにJR安城駅周辺のあるべき姿や土地利用の共同化及び高度化について研究を進めながら、事業化のタイミングを図ってまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。